



いかにFinTechの健全かつ持続可能な
発展を推進するか

梁世棟



FinTechの発展における趨勢

金融包摶の促進及び実体経済へのサービスとしての FinTechの価値が顕在化



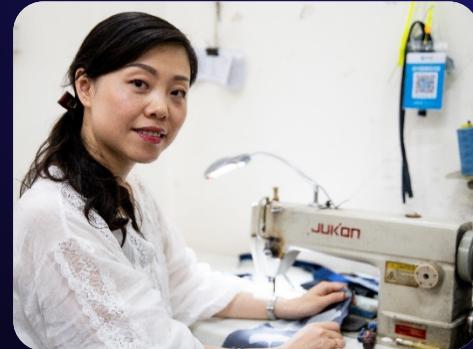
モバイル決済が店舗
の会計効率向上につ
ながる

60%+



中小・零細企業の資金
調達難の問題を解決

“310”



資産運用の庶民化、1
元からの運用が可能に

1元起



中小・零細企業の商
品の海外進出を支援

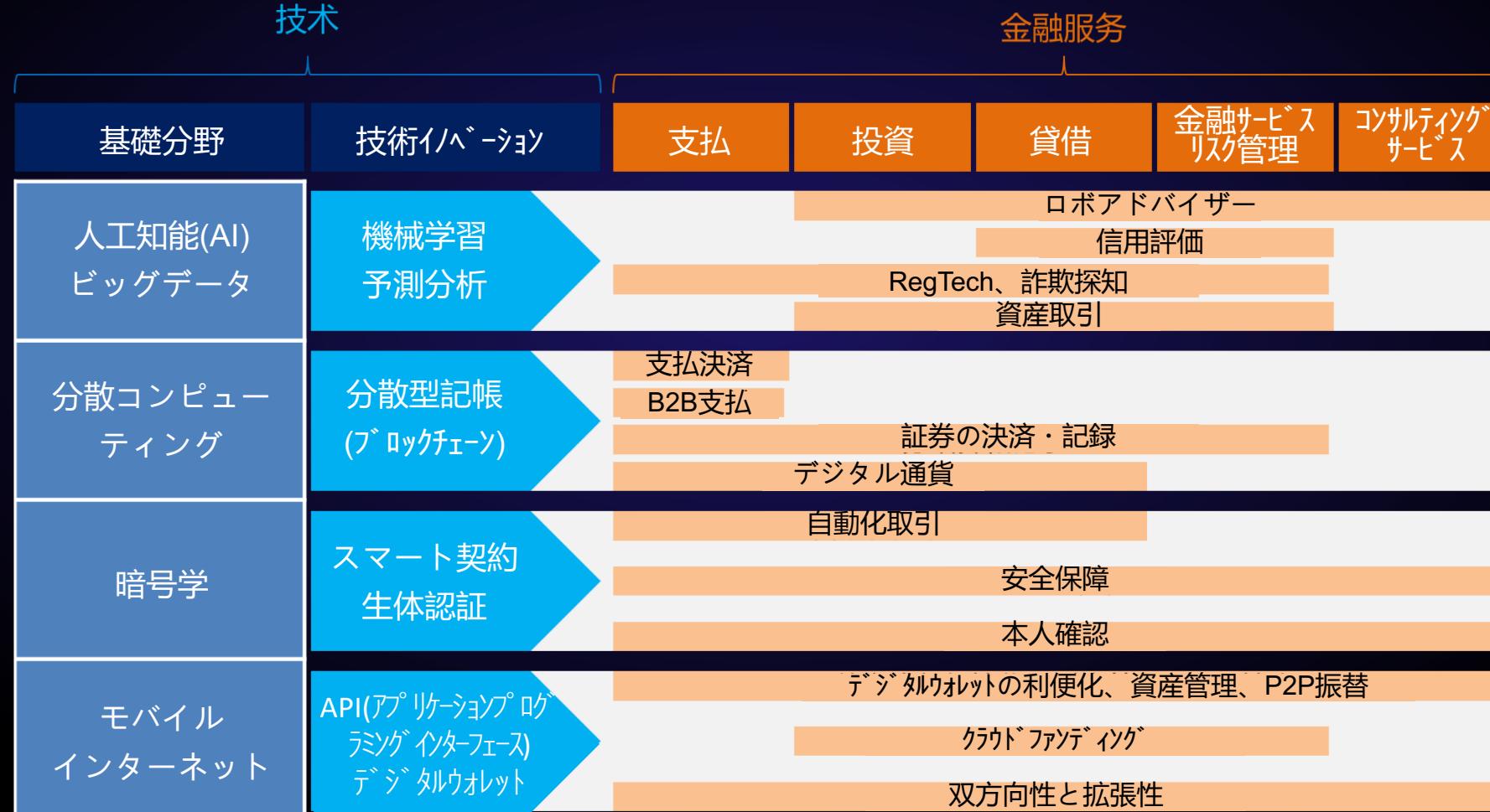
200+个国家



FinTechは単一業種の企業ではなく、すでに金融業界全体の趨勢である



⌚ IMF：「技術革新はすでに金融業務の各分野に応用されている」





FinTechの発展が直面する課題



課題一：FinTechの有意義なイノベーションの実践は

「偽り・劣る」のイノベーションに波及する

P2Pプラットフォームの現状

(2018年5月時点)

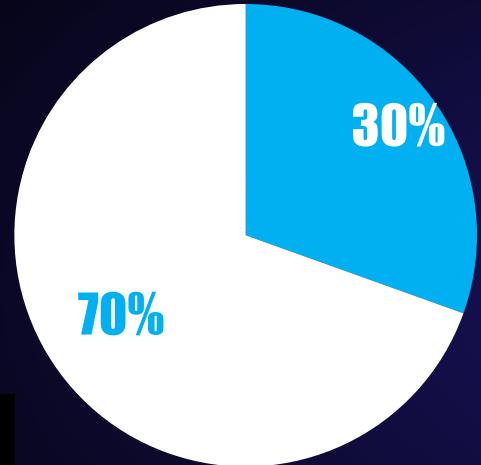
投資家人数

66.1万人

営業停止・問題あり
のプラットフォーム

4270社

出所：網貸之家

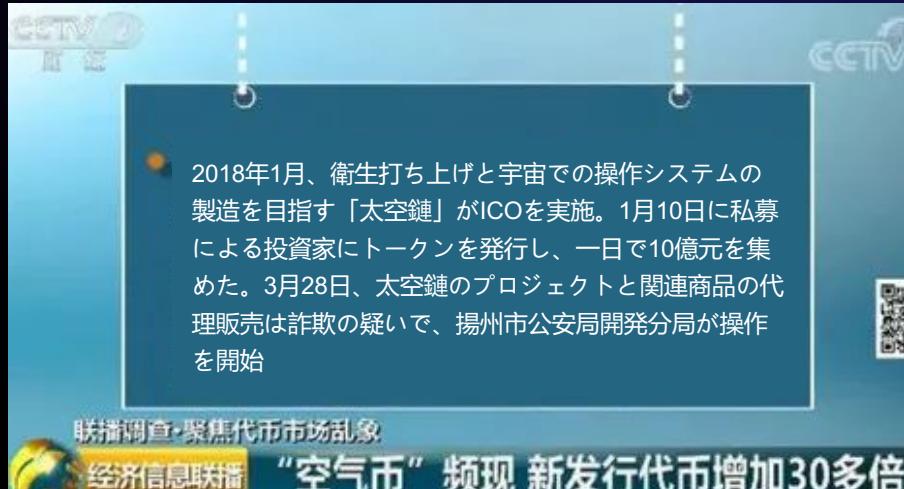


正常な運営を継
続するプラット
フォーム
1872社



「偽り」のFinTech

P2PやICOの本質は、従来の違法な資金調達が形を変えただけに過ぎず、インターネットやブロックチェーンなどの潮流に乗った技術の名を借りているだけ



出所：CCTV

(中国中央电视台)



「劣る」のFinTech

リスクを識別・対応する能力が欠けることは、高コストにつながり、持続可能な発展ができない

課題二：技術革新は金融リスクに不確実性をもたらす



「FinTechの発展が金融の安定にリスクをもたらすという証拠は非
常に限られる」

——金融安定委員会『Fintech が金融安定性にもたらす影響の報告』
(FSB : 'Financial Stability Implications from FinTech')

課題三：FinTechは個人情報漏洩の問題をもたらす可能性があり



データの安全は金融業全体の問題である

伝統・新興の金融機関のいずれにとっても、金融とデータが密に関係している

この難題を解決するには、制度構築だけでなく、技術力の持続的な向上も必須



1/3
2014年

韓国のクレジットカード会社は、内部管理のミスにより、3分の1の韓国人の個人情報が漏洩



44%
2017年

米国Equifaxがハッカーの攻撃により、1.43億人(米国人口の44%に相当)の個人情報が漏洩

「サイバー攻撃による年間の潜在損失は大きく、その額は銀行のグローバル純収益の9%（約1,000億米ドル）に相当する」

——ラガルド「金融部門のネットワークリスク評価」

(Christine Lagarde : 'Estimating Cyber Risk for the Financial Sector')



FinTechの健全な発展を推進
するためのアドバイス



FinTechの健全性：持続可能な発展を判断する唯一の基準は
長期的に実体経済の発展に貢献できるかどうかにある



一：適時、有効、適切な管理監督フレームワークを立ち上げ、イノベーションと発展の均衡を保つ

“原則3：デジタル金融包摶を可能にする法律に基づく管理監督フレームワークを構築”

——《デジタル金融包摶のハイレベル原則》

参入

参入管理

非金融機関決済サービス管理弁法
(中国人民銀行令[2010]第2号)

分業

銀行カードアクワイアリング業務

銀行カードアクワイアリング業務管理
弁法(銀発[2013]第9号)

プリペイドカード業務

決済機関プリペイドカード業務管理弁
法(銀発[2012]第6号)

ネット決済業務

非銀行決済機関ネット決済業務管理弁
法(銀発[2015]第43号)

分類

機関分類

非銀行決済機関分類評価管理弁法(銀
発[2016]106号)

アカウント分類

非銀行決済機関ネット決済業務管理弁
法(銀発[2015]第43号)

適時、授權、完備された管理監督システムにより、中国の第三者決済業界は急速な発展をとげ、かつリスク発生を防止してきた。

二：RegTechの運用を検討し、業界の発展にマッチする管理監督ツールを構築



意思決定支援、管理監督効率化へのRegTechの応用

例えば、金融機関の格付けにおける決定根拠の提供、管理監督定期報告書の自動的作成など



違法な金融活動の事前防止へのRegTechの応用

例えば、ビッグデータで最新の違法な金融活動の特徴を分析、疑いのある機関や経営者が資金口座・委託口座を通して作った関係ネットワークの発見



違法な金融商品の識別へのRegTechの応用

人工知能（AI）を使った業界を跨る金融商品および経営行為の関連分析により、金融機関が提供する商品の金利、レバレッジ、不良率などをシースルー式で自動計算

違法な金融リスク識別への人工知能 (AI) の応用



スマート化されたリスク感知・識別能力
管理監督機関のリスク防止を支援
「早期・小規模」段階で処理し、システムリスクを防止



- ・ ダイナミックリスクの感知
- ・ スマート化された機関による格付け
- ・ 金融世論の監視・制御
- ・ 関係ネットワークの拡充
- ・ インテリジェントなリスク報告
- ・ 案件の証拠管理

三：レギュラトリー・サンドボックスなどの管理監督方式を通じ有益なイノベーションを先行



英国、シンガポール、オーストラリアなどの国がFinTech企業にレギュラトリー・サンドボックスを提供。



シンガポールは銀行が遠距離での口座開設をテスト、公民の個人情報システムを顧客確認(KYC)チャネルとして銀行に開放。

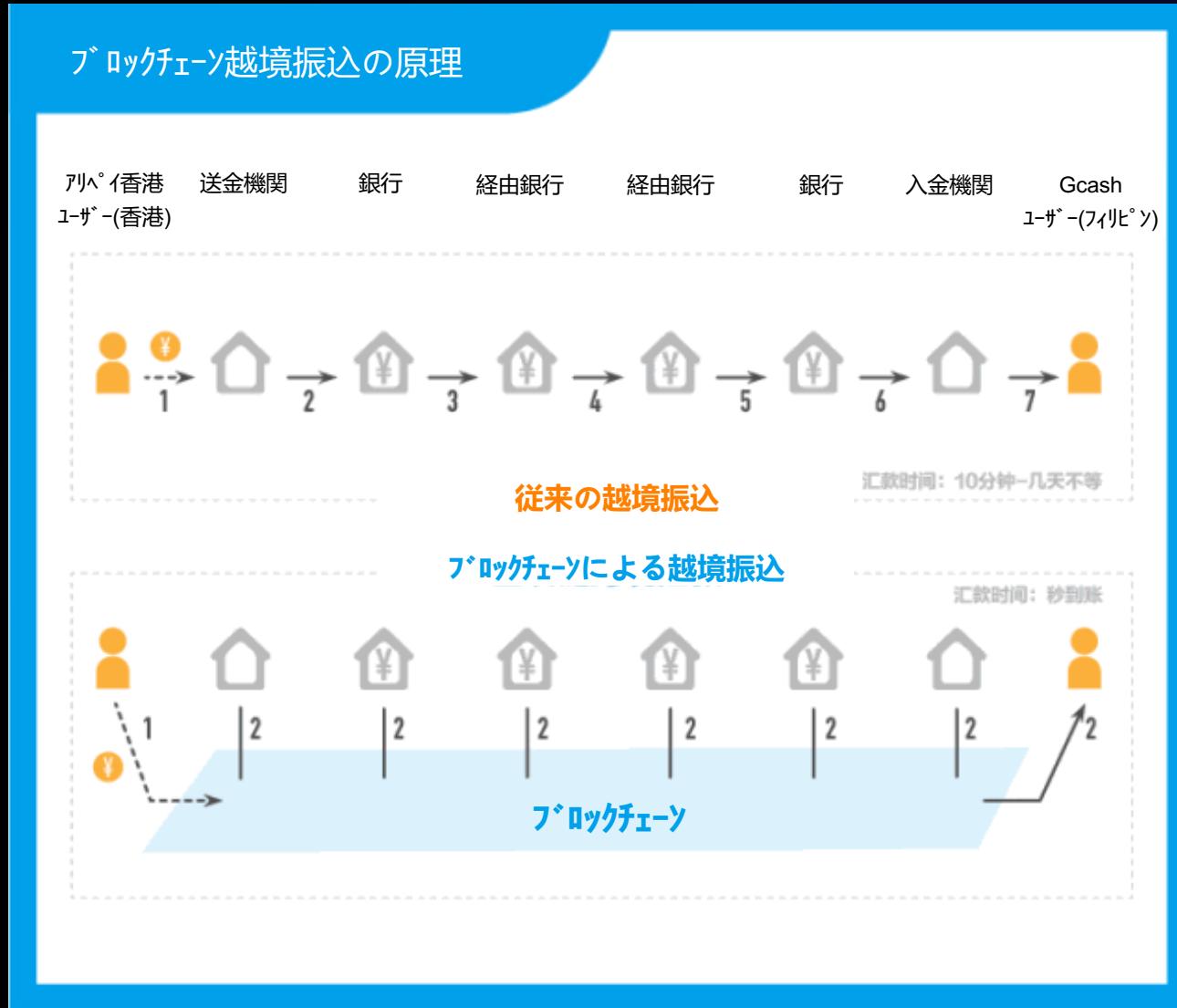
英国金融行動監視機構(FCA)は、一年間運営していたレギュラトリー・サンドボックスを評価した結論としては：

"Promoting effective competition in the interests of consumers."

- 1) イノベーションの実現における時間とコストを低減
- 2) 商品の十分なテスト・改善が可能に
- 3) 管理監督機関とイノベーション企業が共同で新商品の適切な消費者保護施策が実現可能



四：実際に存在する問題の解決をイノベーションの出発点に



従来の越境振込

10分~数日

手数料が高い

資金をなくす可能性も

各主体から情報を取得することが必要



ブロックチェーンによる
越境振込

1秒

手数料が低い

安全性

全過程が監視できる
個人情報が保護される

各主体の情報が一目瞭然
で、リアルタイムで更新



五：技術革新でリスク防止能力を高めることを奨励

リスク感知 Perception

7日x24時間リアルタイム監視アラート
サイバー攻撃やウィルスの関知



リスク識別 Detection

8つの評価モジュール
瞬時で正確なリスク制御力



知能的進化 Evolution

リスク制御エンジンの自己学習
リスク制御モデルの当日自動更新



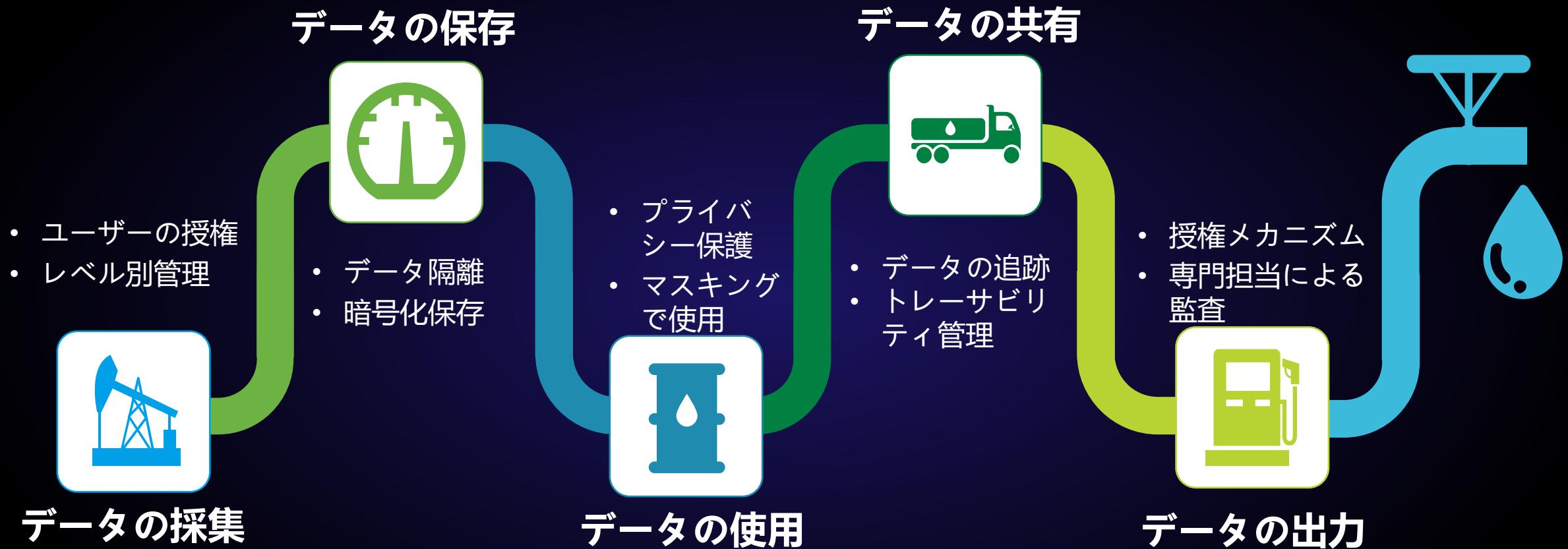
自動運転 Autopilot

リスク感知適応切替

AlphaRisk 知能的リスク制御頭脳

取引資産損失率100分の一未満
口座の保険料は平均1.6元、再投保障金額は100万元
迅速な賠償支払体験、99%AIスマートによる賠償処理

六：メカニズムの整備と技術的保障により、プライバシー保護と データの安全性を確保





方向性の探索：顧客プライバシー保護を前提に、 より高いリスク制御力を実現

“多方面の安全認証”

“ゼロ知識の証明”

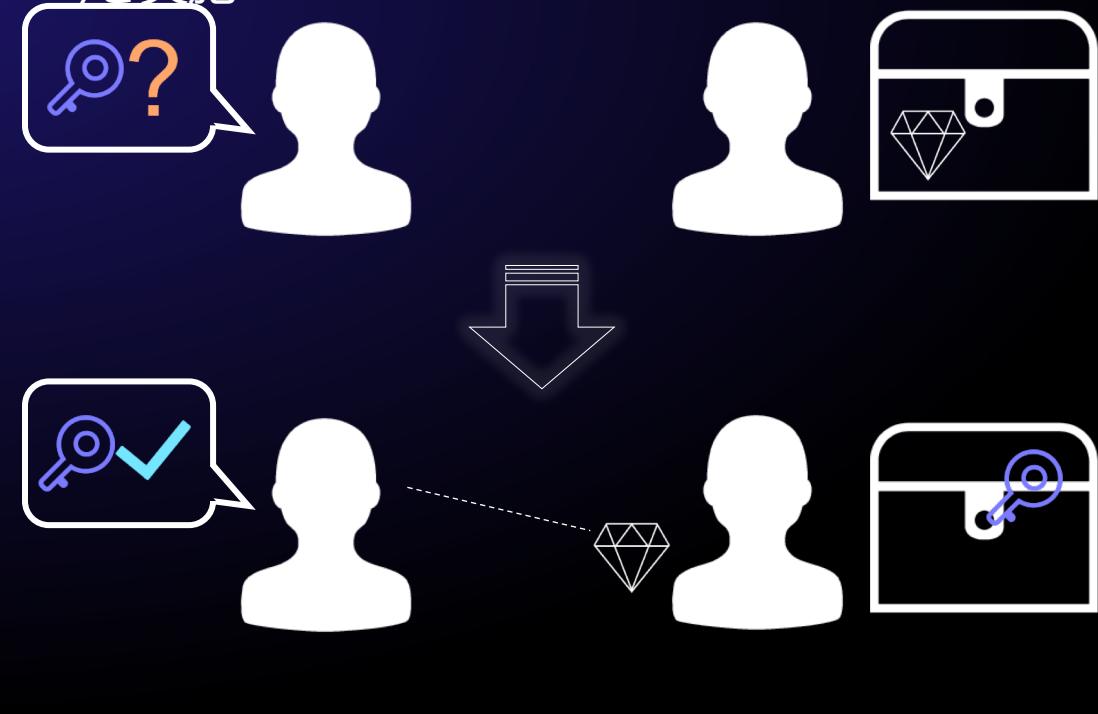
原理：データの統合を重視し、各参加者のデータプライバシーを保護。

応用：貸出機関が信用貸出データを共有しない前提で、顧客の多重借り入れリスクを判断



原理：秘密を公開していない状況で、自身がこの秘密を知っていることを証明する

応用：顧客のセンシング情報に触れない前提で、顧客確認(KYC)を実施





FinTechは金融業全体の共同な趨勢になっており、
実体経済へのサービスの価値が顕在化に

一方、FinTechから生まれる影響は始まったばかりで、
1万メートル走で100メートルしか走っていないのと同様である

今後は各参加者が共に努力し、イノベーションと発展の均衡を保ち、FinTechの健全かつ持続可能な発展を真に推進する必要がある。



ご清聴ありがとうございました